

ひがしゆり

1991-4

No.43



■主な内容

- 東由利21世紀へのトライ……………2・3
- 今年は何をやるか！……………4・5
- 町の台所は一人当たり531,000円……………6・7
- 3月定例議会一般質問・可決議案……………8・9
- 高橋宏幸の世界……………10・11
- 町のわだい……………12・13
- みんなのひろば……………14・16
- ミニトピックスなど……………16・17

サイネリア

長かった冬が去り、春がやっと訪れました。

降りに降り積もった雪は昨年十二月十七日の「初雪」から積算し六十七一センチ(三月二十五日現在)で、昭和六十年(四十三年)以来の降雪量を記録しました。同年以降は雪があまり積もらなかっただけに、今冬の除雪には例年の数十倍もの苦勞をさせられたような気がします。

さて、春は花の咲く季節です。野山にはまだ雪が多く、花の香りが漂うまでには時間がかかりそうですが、ここ西山にある小松茂さんのビニールハウスのなかでは、鉢花が美しい花を咲かせ、甘い香りを漂わせています。

いま咲いている花は「サイネリア」で、小松さん一家は出荷の忙しさに追われていました。

東由利 21世紀へのトライ

〈平成3年度町長施政方針・その1〉 町民の団結こそ町発展の基本 東由利町長・畠山 亮二郎

二十一世紀を十年後にひかえ、その架け橋とレールを敷かねばならない時期を迎え、あわせて平成三年度は首長選挙の時となり、町民の選択が町の未来の発展を左右する大事な年、との強い認識を持つものであります。

四年前、私は町民の信託を得て当選させていただき、いま二期目の任務を遂行中であります。再選にあたりましては無投票当選というこの上ない光栄に浴しました。以来私は、町民から寄せられたこの信頼と期待に対しまして、その責務の重大さを痛感しながら今日に至りました。その信頼と負託に応えることこそ、私の町民に対する最大の責務であるとの認識のもとに、これまで全知全能を傾注して町政発展のために全力を尽くしてまいりました。この間、町民の要望に耳を傾けながら、地域の実情を汲み取り、町民の協力を得ながら、特に地域住民の長年の懸案事項の解決を重点に地域づくりに挺身してまいりました。また同時に、町の未来の発展のための町づくりについては、町づくりの行政指標を定め、計画を樹立し、その実践にあたってはキメ細か

な行政施策を一つひとつ積み上げてまいりました。

省みますと、八年前、私は地方自治の原点は地域住民と共に歩む町政であることを町民に強く訴え、町民総参加の町政を打ち出してまいったところでありました。就任早々に、その実践のための町民の道しるべとなる「町民憲章」を公約通りに制定し、これに基づいて町民参加の町政を進めてまいりました。私の町政をあずかる基本姿勢は、「町民と共に歩む町政」「町民参加の町政」であります。この私の姿勢については町民間にも、理解をいただきまして、その結果として、長い間地域の未解決問題や要望の強い地域開発事業及び未解決事業など、一つひとつ解決してまいりました。これは町民の町政に対するご理解ばかりでなく、町政への積極的な参加と協力に外なりません。以来、今日までの間、町政に対する紛議や行政上の抗議などの事案も全くなく、私にとりましては予期以上の業績をあげることができましたのも、議員各位のご協力をはじめとする町民参加の行政の結果であり、町民と共に歩んできた

実績であります。言い換えますと、町民自身の町政実績以外に外ならぬものとの考えを深くしているところであります。

私が首長となりました当初は、町民参加の新しい町政の流れを望む町民の要望と期待が大きく、町内に広く世論を形成しておりました。その潮流の渦が町内に漲っておりまして。私を新しい町政の担い手として選択していただいた当時のことが、今もって彷彿とするものがございます。私は今日まで行政施策の実践にあたり、常にこのことを念頭におきながら、町民の期待に添うべく努力してまいりました。「嘘のないガラス張りの行政」「偽りのない政治」「実践実行の行政」を信条として、またこのことを常に町民に公言しながら、着実に実践してまいりました。二期目においての町民の私に対する選択は、これらの政治姿勢と実績を評価していただいた上での信頼と期待を寄せられてのものであろうと心得ておるところでございます。この町民の信託に応えるため、私はひたすらふるさ

と発展のため町民の代表者として自らに鞭打って、仕事には常に積極的に厳しく取り組んでまいりました。この間に定められた「町開発基本構想」「町過疎地域活性化計画」など、町の未来の発展に向け、行政施策を計画にしたがい一つひとつ着実に実践し、町づくりの基盤整備に力を入れてまいりました。

特に町の基幹産業である「農業」「畜産」「林業」等の基盤整備事業をはじめ、若者の定住、就労対策としての企業誘致の促進、更には高齢化社会対応の諸施策など、長年の懸案事項を次々に実践・実行に移してまいりました。この間数多くの国・県補助事業を組み入れながら、これを完成し、また事業着手に至っております。なかでも、町民生活の基盤である幹線動脈路線と、集落間の生活道路網改良整備が急ピッチに進み、着工途中である一部を除き次々に完成をみております。そのほか生活環境の整備、生活空間の社会資本の充実、生活文化施設、福祉施設の整備、教育施設、教育環境の整備充実など、ここ数年間に整備されたものは多く、数え上げるまでもありません。こ

のことについては、町内外から評価をいただいているところでございますので、町民にとりましては、一面町の誇りとしていいものと確信するところがあります。そのように、いま東由利町は町外に向かって町躍進を誇れるまでに、町の近代化と社会資本の整備が進んでまいりました。

この間に特に苦勞いたしましたことは、自主財源に乏しい財政力のなかで、いかに積極的な町づくりを進め、将来に向けた健全財政の確保のため公債費比率のバランスを考慮し、行政需要と財政上から財源の確保に、一段と創意工夫・努力を要したことであります。

私はこの間、県当局をはじめ国の指導とご理解を賜わりながら、県と国にその財源を求め、補助金の確保、国管事業の取り込み、県単事業ないしは県代行事業の組み入れなどを図り、国・県の支援を取りつけながら、これまで

町づくりを積極的に急ピッチに進めてまいったところであります。その結果、新しい時代にふさわしい町づくりが進んでまいり、逐年毎に躍進する町の姿となりました。この際改めて町民各位のご協力に感謝を申し上げますが、ご報告申し上げる次第であります。

さて、町民各層各位におかれましては、このような町内実情を良く理解されまして、私の今後に対して寄せられる期待と協力の声が増しに一段と高まってまいりました。いま、この町民の声に励まされながら、その行政責任をより一層強く感じ、心を新たにしておるところでございます。あらゆる機会に、毎日寄せられる町民の激励と支持・支援の声は誠に有難く、感謝と感激の外ありません。私は常に町民の心を心として町民の声を大切にしながら、町政をあくまでまいりましたので、今後とも今までより以上努力して、町

民のために、ふるさと発展のために最善をつくしてまいりる所存であります。平成三年度の予算編成にあたりまして、町民の声を反映させるためのあらゆる施策面、事業面に配慮し、町民と共に歩む実行の行政をめざした予算編成といたしました。私は地域づくりの基本的な考え方として、

これからの地域づくりの課題は、いかにして個性と独自性を発揮しながら、自らの地域アイデンティティ(主体性)を打ち立てるかに集約されていくものと考えております。地域づくり町づくりの営みは、言うまでもないことではありますが、地域住民すべての参加と実践により進められるべきもので、その基本となるものは、郷土に対する共通の思いと、郷土の未来に対する共通ビジョン(展望)でないかと思われ

主体的な地域づくりの推進が大きな行政課題となつたいま、地方自治の役割は大きいものがあります。山積する課題を抱え、その真価が問われる時代にあたり、もっとも大事なことは、いた

施政方針説明をする畠山町長

「出羽丘陵の自然と調和したモデル農村づくり」をスローガンに、東由利町政は着実に、いま、新しい展開と進展をみようとしております。自主的・

私は常々郷土の発展のためには、郷土の歴史、風土、伝統、文化などを正しく学びながら、また、地理的立地条件を活かしながら、先人の業績をはじめ、郷土についての正しい認識と評価を機軸にして、はじめて未来に連なる新しい文化の創造とそれぞれの地域のアイデンティティの明確化が可能になるのではないかと考えております。つまり、新しい地域づくりは、「地域の足元を見据えたうえでグローバルな施策の展開」が基本になるものと考えられるものであります。このような考えに立って、すでに地域の特性を生かした町づくりの実践がはじまりました。昨年以來「山村に生きる農業シンポジウム」の開催をはじめ、足元を見据えた町づくりの展開がはじまりました。

さて本年は、イラクのクウェート侵攻による湾岸戦争で新年の幕が開かれ、米・ソ二大強国対立冷戦構造の世界から、米・ソ協調の時代へ転化した世界の新しい秩序づくりがはじまったことを喜んだのも束の間。ソ連国内の不安定化は、バルト三国への武力弾圧などペレストロイカ政策のかげりと独裁体制への逆行が懸念されるなど、世界の変動がきびしい一年のはじまりとなりました。今後の国際環境の変化など予見し難い要素が大きいのでありますが、わが国の経済成長率は名目で五・五、実質で三・八程度が見込まれており、全般的には、なお安定した経済の伸びが見込まれると見ております。今後の経済の動向を十分注視しながらも、新年度の予算編成にあたっては新規事業を積極的に組み入れまして、財源措置上可能な限り前向きに予算計上し、積極大予算編成といたしました。





須郷田跡見坂線は今年550mを舗装

〈平成3年度町長施政方針・その2〉

今年は何をやるか！

的施策を展開します。そのために今年
は、パイプハウス利用の園芸作物に対
する「園芸作物生産方式改善対策奨励
補助金」や「高原野菜栽培振興事業費
補助金」を継続して実施するほか、新
しく、農協が行う「技術協力員設置事
業」への支援措置として「野菜生産振
興特別対策事業補助金」、野菜共同生
産のための農機具購入に助成する「野
菜等共同利用機械施設整備事業補助金」
を設置します。また、農協が新しく計
画しているパイプハウスの「リース方
式貸与事業」に助成する「施設型農業
促進事業費補助金」を新設しました。

新しく「転作圃場排水整備促進事業費
補助金」、「転作作物生産合理化事業
補助金」を設置するほか、冬季農業を
振興するために「新農業新技術導入促
進事業費補助金」、「冬季作物試作セ
ンター」を設置します。

農業後継者

対策では、「学
校農園」の設置、

児童対象の「地域農業学習会」の開催
のほか、農業後継者の資質の向上、仲
間づくり、定住環境の改善などのため
に補助制度を設け推進します。

畜産

振興では、これまでの各種事
業の継続のほか、新規に「町
単繁殖牛導入対策利子補給補助金」、
「町単繁殖牛（更新）保留対策事業補
助金」、「牛アカバネ病予防事業補助
金」を設けました。また、肥育への関
心が高まってきたことから「肥育経営
講習会」、「肥育素牛追跡調査」のほ
か、導入価格の一部を助成する「肥
育素牛導入推進事業」を実施します。

林業

振興については、造林作業の
効率化を図るため、「林業管
理車」を購入します。また、「木酢液」
生産の調査を行う「特用林産物開発実
験事業」、林業労働者の社会保障のた

流通ベースについては、消費者のニ
ーズにこたえる米づくりが大切であり、
「安全でおいしい米づくり」を推進す
るために「良質米自然乾燥奨励事業補
助金制度」を更に拡大して継続するほ
か、販売ルートの確立、需要者へのP
Rなどのために「地域産米消費流通拡
大事業補助金」を新設しました。

低コスト経営は団地化、共同化など
が課題であり、その実情把握のために
「生産組織の実態調査」を行うほか、
「良質米生産研究グループ育成事業補
助金」を新設します。

野菜

は、①転作推進作物の住み分
け別栽培の推進。②畑地条件
の整備促進による単位当たり収穫量の
増大。③生産技術の高位平準化の促進。
④ハウス利用による生産物の品質向上
と周年農業の推進」を重点に、具体

平成三年度の重点施策は、①基幹産
業である「農・畜・林の振興対策」。

②生活基盤である「生活空間、生活環
境の整備・充実」。③地域活性化のた
めの「若者定住促進・福祉保健対策の
強化」。④町づくりの基本である「人
づくり施策と教育環境の整備・充実」
の四項目としました。

農・畜・林の振興対策

は、生産ベースの目標として、
①単位当たり収穫量の高位安
定。②作付品種の適正配置。③病害虫
の徹底防除」の三点を掲げ、これに
対する施策として良質米栽培技術指導
員制度、稲作栽培講習会、展示圃、調
査圃を継続して実施するほか、「良質
米栽培暦」の作成、「良質米品種特性
保持事業補助金」などを新設します。

稲作

は、生産ベースの目標として、
①単位当たり収穫量の高位安
定。②作付品種の適正配置。③病害虫
の徹底防除」の三点を掲げ、これに
対する施策として良質米栽培技術指導
員制度、稲作栽培講習会、展示圃、調
査圃を継続して実施するほか、「良質
米栽培暦」の作成、「良質米品種特性
保持事業補助金」などを新設します。

葉たばこ

は、牛に次ぐ複合作
目であり、今後とも
その振興に力を注ぎます。このため「葉
たばこ振興特別対策事業補助金」を拡
大して継続するほか、規模拡大のため
に「葉たばこ耕作拡大奨励事業費補助
金」を新設しました。

転作

は多くの問題を抱えています
が、大きく分け、①団地化に
よる計画的な推進。②転作作物の換金
奨励。③排水整備促進による生産性の
向上」が課題です。このため、「転
作定着化推進事業費補助金」の継続と、

めの「林業労働者雇用促進対策事業」、「パイオ桐栽培試験林設置事業」、「木工品技術アドバイザー設置事業」などを新しく実施することになりました。

生活空間・生活環境の整備充実

国道

一〇七号・奥ヶ沢工区の改良工事は、今年は舟木地内道路工九百二十号と暫定盛土工事が着工します。現在工事中の二号トンネルは五月中に完通する見込みで、その後一号トンネルが着工する予定です。奥ヶ沢手前の一号橋「千貫岩橋」、沼・金山線をまたぐ四号橋「新田向橋」は新年度中に完成、本荘市山内側に至る二号橋「奥名免橋」は下部工事が着工する予定です。

県道

は、仁賀保矢島館合線の館合バイパス改良工事が河原田橋から約三百メートルの暫定盛土工事、神岡坂部横渡線の岩館バイパス及び羽後向田館合線が本格的調査に入る予定です。

農道

関係では、▽県営八沢木地区(高村線) 舗装千五百五十五号▽鳥台地区 改良四百二十七号、舗装十七号▽坪倉線 舗装千五百五十五号▽鞍骨線 舗装千九百九十号▽同二期工事 改良四百七十七号▽杉森地区 舗装千八百八十号▽若林地区 改良・舗装七百二十号▽同二期 改良二百四十号と用地補償▽アクト線 改良七百八十号 一を予定しています。(以下、林道関係を割愛)

若者定住促進・福祉保健対策の強化

若者の居住条件は、就職の場の確保のみならず、近代的生活の可能な住居、そして車社会など、多様であり、これら若者のニーズを充たすためには、居住環境や生活の安定に対する手助けが必要だと考えます。

こうした行政措置として今年度は、「若者定住促進条例」及びこれに基づく「若者定住促進基金条例」を設置することになりました。内容は、住居整備、物資購入、新婚旅行、就職などに対し貸付や祝い金の支給を行うもので、従来の「縁組世話人報奨金」もこの条例に組み入れることになりました。

福祉

対策では、従来の「重度身障者等移送費給付事業」によるタクシー利用券の交付を、月一枚から二枚にしました。また、「身障者用具購入費助成事業」、「老人緊急通報装置事業」を新しく実施するほか、これまで実施してきた事業を更に改善を図りながら継続し、特に在宅老人のデイサービス事業などは社会福祉協議会との連携を強化し、ヘルパー活動の充実を図ります。このほか福祉に関連し、「サイレン一斉吹鳴装置」の導入、流雪溝を活用した消防水利を確保するために「流雪溝集水器」を各分団に配置

保健

活動については、特に定期検診をはじめとする町民の受診率の向上に努めると共に、「一日人間ドック」の助成対象年限を七十歳までに拡大し、病気の早期発見、早期治療に努めます。

人づくり施策と教育環境の整備充実

人材育成のために、重点施策それぞれに研修費などをあげていきますが、更に今年度は、青年国内研修のみならず「町民海外研修事業」を実施し人材の育成を図ります。

教育

環境の整備では、懸案の八塩辺に新設します。旧プールは地域住民の要望により社会体育用として活用する方針です。また、今年度は台山グラウンドの整備と、勤労者野球場にナイター設備を設置します。

●平成3年度の主要事業一覧(単位・千円)

〈総務費〉

町勢要覧発行事業	2,864
温泉開発事業	70
地域手づくり事業	675
若者定住促進奨励事業	54,065
コミュニティ助成事業	2,683
東北自然歩道路線調査費	2,056
八塩自然休暇村整備促進事業	25,800
青少年交流施設事業	5,814
公営住宅調査費	100
NHKキャラバン協賛事業	1,500
台山周辺環境緑化整備事業	4,461

〈民生費〉

重度身体障害者移送費給付事業	648
身体障害者用具購入助成事業	72
長寿祝金支給事業	1,010
高齢者住宅、障害者居室整備資金貸付事業	8,500
在宅老人サービス運営事業	1,192
老人緊急通報装置設置事業調査費	30

〈衛生費〉

旧斎場跡地整備事業	3,650
健康診査事業	34,716

〈農林水産業費〉

自立経営農家経営基盤強化対策事業	403
水稲生産対策	9,104
野菜栽培振興対策事業	4,783
葉たばこ耕作振興事業	2,096
農業後継者対策事業	558
地域産米消費流通拡大事業	545
冬型農作物試作センター設置事業	2,111
施設型農業促進事業	3,931
新農業、新技術導入事業	320
特産品研究開発生産振興対策事業	2,300
村づくりフォーラム開催事業	1,480
転作定着化推進事業	3,705
肉用牛(繁殖)増頭対策奨励事業	3,000
地域畜産活性化対策事業	6,441
第三期山村振興農林漁業対策事業	31,507
農道整備事業	183,678
農村総合整備モデル事業	136,518
林道新設改良事業	58,230
林業管理車購入事業	1,860
林業労働者雇用促進対策事業	288
木工品技術アドバイザー設置事業	450

〈商工費〉

中小企業振興対策事業	2,000
町内案内看板設置事業	979

〈土木費〉

岩館バイパス建設促進事業	1,100
道路新設改良事業	23,725
冬期交通対策事業	29,878
河川愛護推進費	1,414

〈消防費〉

団員被服購入事業	2,755
消防活性化総合整備対策事業	25,560
消防施設整備事業	10,645

〈教育費〉

社会科副読本作成事業	950
八塩小学校プール新設事業	87,258
中学校生徒指導全国公開研究大会開催事業	800
青少年教育事業	1,841
人材育成事業	4,045
体力づくり事業	2,097
ナイター施設整備事業	75,700
町民運動場整備事業	89,500

一人あたり531,000円

次世代に生きる使い方を!

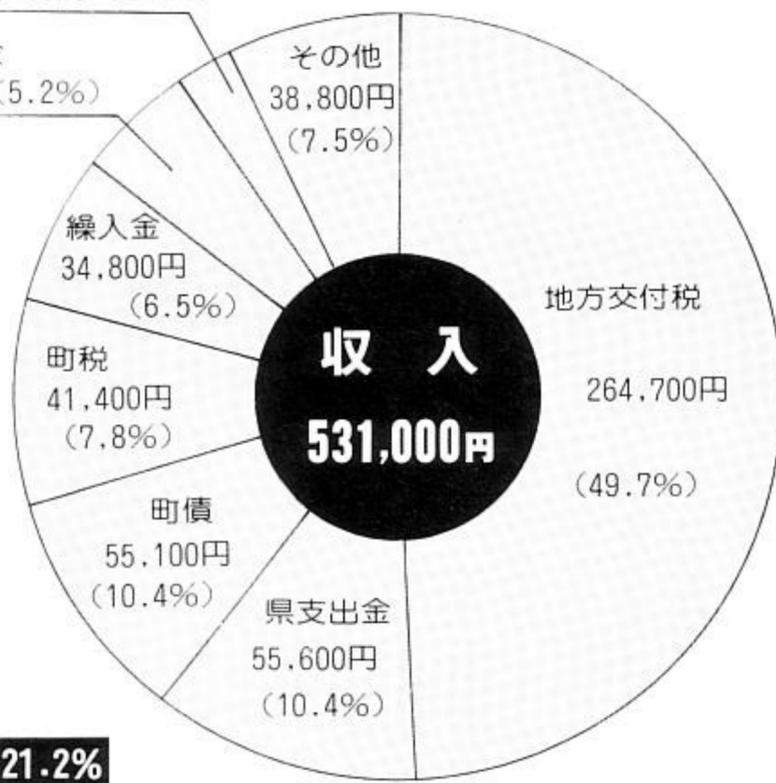
町民一人当たりの町税は41,416円

- 固定資産税……………24,041円
- 町民税……………13,377円
- 町たばこ税…………… 2,669円
- 軽自動車税…………… 1,329円

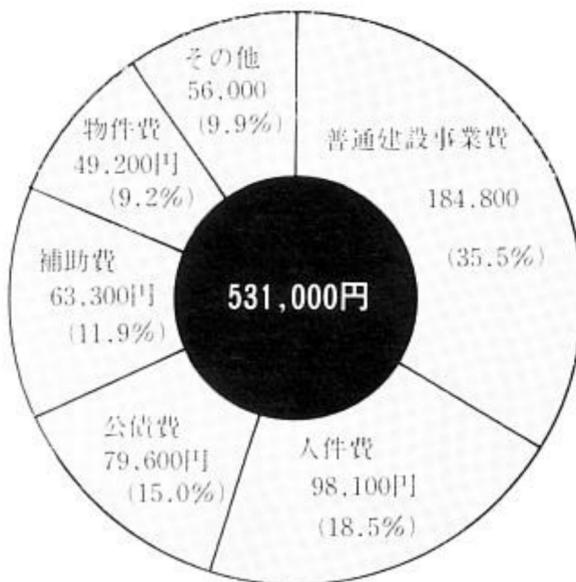
◆町民1人当たりの収入

繰越金 13,200円 (2.5%) (100円未満は省略・%は構成比)

国庫支出金
27,400円 (5.2%)



78.8% 依存財源
21.2% 自主財源



●町民一人当たりの一般会計
性質別予算の状況
(百円未満省略)

平成三年度一般会計当初予算は、新規事業を積極的に組み入れ財源措置上可能な限り前向きに予算を計上したため、積極・大型予算となりました。基本的に留意したことは、①将来展望に立った健全財政の維持と、公債費比率の削減。②行財政の効率化・合理化。③財源確保のため国庫支出金の獲得と良質債の最大活用です。

予算編成の特徴、重点事項は、①基幹産業である農業振興に積極的に取り組むため、ソフト事業を含め新規農業施策を多面的に取り入れた。②健康

づくりと若者定住促進のため体育施設の整備促進を図った。③過疎対策ないしは若者定住促進対策として新規に行財政支援措置を図った。④生活環境整備、

〈平成3年度町長施政方針・その3〉

町民の要望反映の大型予算編成

生活空間の社会資本の整備・充実並びに役場庁舎建設準備など、町の未来に向けた施策を重点に組み入れた。⑤民生基盤安定のための諸施策と福祉活動

の強化に努めた。⑥義務教育施設の整備と社会教育施設の整備・充実に努めた。⑦などですが、予算計上にあたっては議会並びに町民の要望を可能な限り反映させました。

この結果、一般会計の当初予算総額は三十億八千八百八十六万円で、前年度より三億六百四十八万七千円、一

從増となりました。

歳入の主なものは地方交付税、国・県支出金、町債などで、これら、いわゆる依存財源は歳入全体の七八・八從ですが、前年度に比べわずかながら二・一從減少しました。また町税など自主財源は二一・二從で、前年度に比べ二・一從増えました。なお、公債費比率は、大型予算にもかかわらず前年度より低い一一・四從となる見込みで、昭和六十二年以降逐年逡減しており、将来に向けて財政の健全化が保たれる見込みがはっきりしてきました。



平成3年度 町の台所は

一般会計・21世紀に向けた

今年度町に入ってくるお金と使われるお金は次の通りです。

表と図を見ながらお読みください。

町民一人当たりの使われるお金は531,828円

○使われるお金＝総額÷人口

——1月1日現在の5,808人で計算——

●平成3年度一般会計予算

〈収入〉		(単位=千円・△=減)		
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減率 (%)	
町 税	240,547	236,634	1.7	
地 方 譲 与 税	61,200	49,800	22.9	
利 子 割 交 付 金	5,100	3,400	50.0	
自 動 車 取 得 税 交 付 金	27,000	22,000	22.7	
特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	10	10	0.0	
地 方 交 付 税	1,537,511	1,473,373	4.4	
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	600	10	900.0	
分 担 金 及 び 負 担 金	44,374	40,340	10.0	
使 用 料 及 び 手 数 料	8,545	8,202	4.2	
国 庫 支 出 金	159,152	138,355	15.0	
県 支 出 金	323,473	314,631	2.8	
財 産 収 入	39,474	25,760	53.2	
寄 付 金	10	10	0.0	
繰 入 金	202,184	81,491	148.1	
繰 越 金	77,000	68,000	13.2	
諸 収 入	42,180	43,957	△ 4.1	
町 債	320,500	276,400	16.0	
収 入 合 計	3,088,860	2,782,373	11.0	

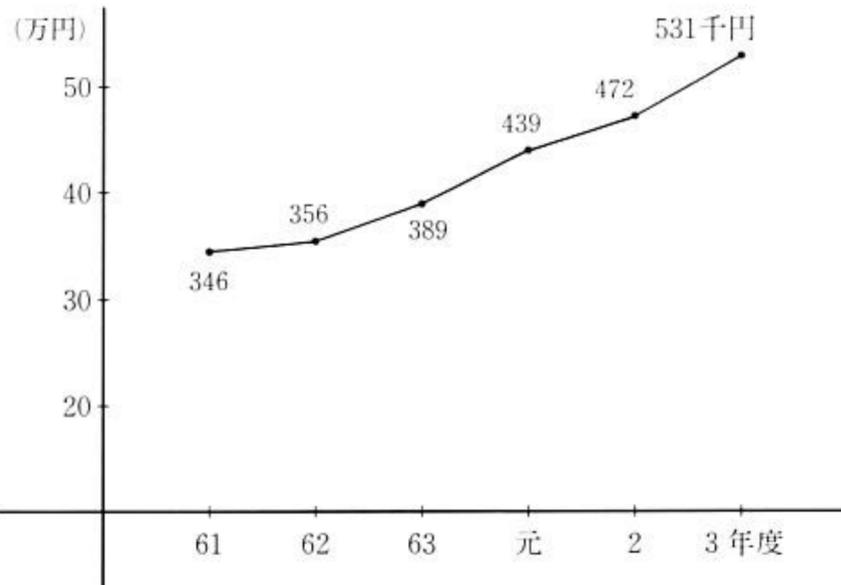
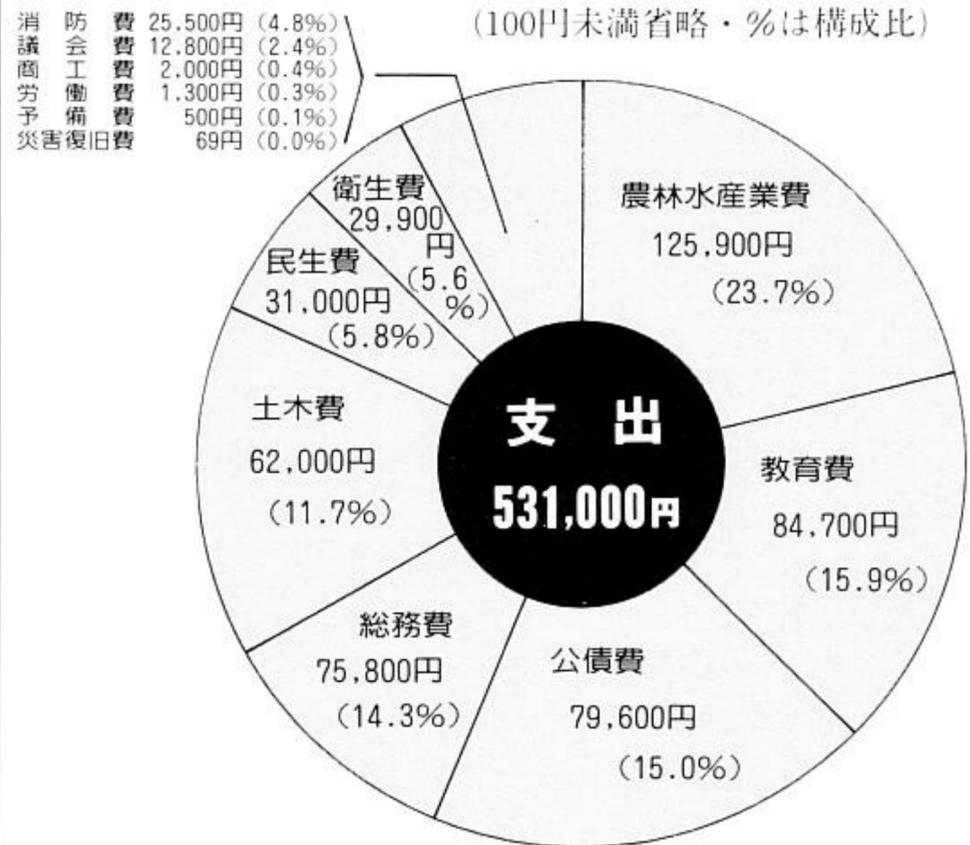
〈支出〉		(単位=千円)		
項 目	本年度予算額	前年度予算額	増減率 (%)	
議 会 費	74,703	69,339	7.7	
総 務 費	440,768	323,825	36.1	
民 生 費	180,531	173,354	4.1	
衛 生 費	173,923	187,764	△ 7.4	
労 働 費	8,052	23,948	△66.4	
農 林 水 産 業 費	731,663	724,277	1.0	
商 工 費	11,837	11,206	5.6	
土 木 費	360,270	322,411	11.7	
消 防 費	148,619	124,782	19.1	
教 育 費	492,205	351,536	40.0	
災 害 復 旧 費	400	18,687	△97.9	
公 債 費	462,779	448,134	3.3	
諸 支 出 金	110	110	0.0	
予 備 費	3,000	3,000	0.0	
支 出 合 計	3,088,860	2,782,373	11.0	

●平成3年度特別会計予算 (単位=千円)

会 計 別	本年度予算額	前年度予算額	増減率 (%)
国 民 健 康 保 険	484,743	489,954	△ 1.1
老 人 保 険	416,154	379,639	9.6
黒 淵 診 療 所	2,385	2,116	12.7
簡 易 水 道 事 業	127,526	122,513	4.1
特 別 養 護 老 人 ホ ー ム	151,554	132,519	14.4
大 平 ス キ ー 場	14,569	9,283	56.9
玉 米 財 産 区	1,031	1,344	△23.3

◆町民1人当たりの支出

(100円未満省略・%は構成比)



●町民一人当たり一般会計当初予算の推移 (千円以下省略)

農業問題などで2氏質問

「助産費」の引き上げなど8件を要望

3月定例議会



三月定例議会が三月五日から十四日までの十日間の会期で開かれ、初日に町長が施政方針説明（二、七面に概要を掲載）、二氏が一般質問を行ったほか、平成二年度一般会計補正予算案など六議案を可決、最終日に平成三年度一般会計予算案、若者定住促進条例制定案など八議案を原案通り可決、同意し閉会しました。ここでは、一般質問の概要、可決した主な議案、新年度予算の審査過程で各常任委員会が指摘した要望事項についてお知らせします。

問 町内一般土木作業員の賃金は、郡内沿岸部の町に比べ一八程低い。これは、工事設計時の労務費見積単価の違によるものと思われるので、町発注工事の基準単価をアップするべきである。

答 公共土木工事の労務費基準単価は全県各市町村同一です。したがって町独自で単価を変えることはできないものと考えます。郡内沿岸部町との差は、雇用業者と労務者との賃金契約によるものであり、地域業者間で改善を図るべき問題と考え

問 町内一般土木作業員の賃金は、郡内沿岸部の町に比べ一八程低い。これは、工事設計時の労務費見積単価の違によるものと思われるので、町発注工事の基準単価をアップするべきである。

答 公共土木工事の労務費基準単価は全県各市町村同一です。したがって町独自で単価を変えることはできないものと考えます。郡内沿岸部町との差は、雇用業者と労務者との賃金契約によるものであり、地域業者間で改善を図るべき問題と考え

ます。

問 農業が存亡の瀬戸際に立たされているいま、創意と工夫を凝らしながら住民総参加の行政に最大の努力を傾注すべきと思うが、町長の考えをうかがいたい。

答 本町農業の将来展望と施策の展開については「東由利町農業振興大綱」（今年策定）によって明らかにしていく考えですが、ご承知のように一種兼業農家が四〇程、二種兼業農家が五六程、専業農家がわずかに四程という実態を考えれば、農業専業では暮らしていくのが事実です。そのような観点から、創意工夫による魅力ある農業を創造しているところであり、それは農家のみならず町民皆が「農村東由利」という認識の上に立って、新しい道を見つけ出していかなければならないと考え、いまその問題にチャレンジしているところ です。

- 常任委員の指摘・要望事項**
- 1・町臨時職員の確保が困難と聞くが、不十分な待遇が起因しているものと思われる。違法にならない範囲で雇用改善を図りたい。
 - 2・町民海外研修は参加者の職業の違いなどにより目的も異なるものと考えられ、研修国、研修先を分散する方法を考えてはどうか。
 - 3・公営住宅の調査はプロジェクトチーム等による多角的な研修調査を推進し、将来に悔いを残さぬよう積極的に進めるべきである。
 - 4・水道未給水地区及び雑飲料水併用世帯の水質検査を行い、事故の未然防止及び財政を考慮しながら施設設置を促進すべきである。
 - 5・特産物フェアは広範な意見を把握するために検討会を開き、不評を買わないよう時期、場所等を検討されたい。
 - 6・教育予算の大幅な伸びに伴い、社会教育、社会体育施設の効率活用のための職員体制の確立を図りたい。
 - 7・町民運動場改修とあわせ付帯施設（トイレ、倉庫）についても総合的に整備を考えるべきである。
 - 8・国民健康保険の助産費を社会保険と同額に引き上げるよう検討されたい。

した案
決議
可主

若者定住促進で条例制定

役場庁舎の新築に向け基金を設置

三月定例議会に提案し、可決した議案の主なものは次の通りです。

若者定住促進条例を制定

町内在住の十五歳以上三十五歳以下の若者に、住居整備や生活資金、新婚旅行資金の貸し付け、就職祝い金の支給などを行うことにしました。概要は別表の通りです。

若者定住促進基金条例を制定

「若者定住促進条例」に伴う貸し付け金の資金として、五千万円の基金を設置しました。

庁舎建設基金条例を制定

町役場庁舎の建設に要する経費に充てるため、基金を設置しました。毎年度基金として積み立てる額は、一般会計歳入歳出予算で定める額としました。

特別職の報酬等を改正

次の通り改正しました。()は改正前の月額。

- ▽議会議長二十一万八千円(二十万七千円)
- ▽同副議長十八万七千円(十七万六千円)
- ▽同議員十七万六千円(十六万八千円)
- ▽町長六十八万円

(六十五万円)▽助役五十二万五千円(五十万円)▽収入役四十九万円(四十七万円)教育長四十六万六千円(四十五万円)※非常勤の特別職は省略させていただきます。

アクト線を改良

団体営農道整備事業によりアクト線(大琴)を改良することにしました。期間は平成三年〜同七年度で改良延長は千三百尺(車道幅員四尺)。事業費は一億四千五百万円で負担割合は国五〇、県一五、町三五です。

官行造林の立木を取得

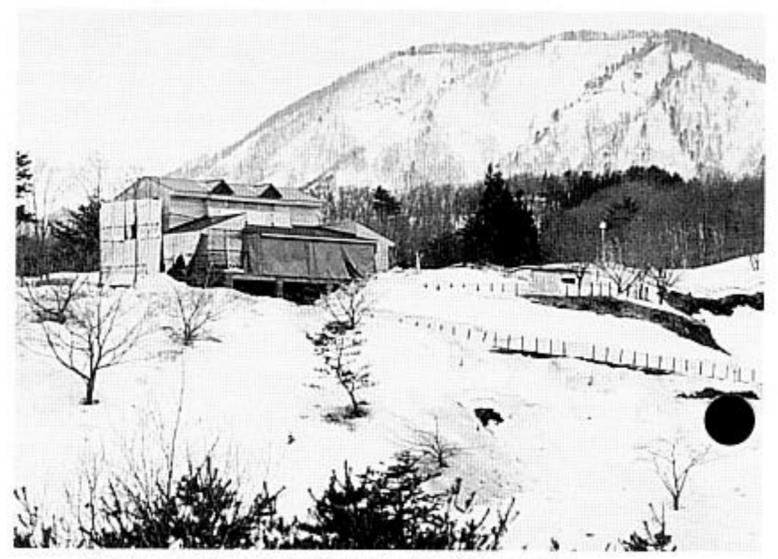
環境保全、水源涵養などのため、黒淵字堰根地内のスギを中心とした官行造林立木十三・三〇畝、二千八百五十七立方尺を、秋田営林局から千七百九十万五千円で購入することにしました。

青少年交流施設の名称など決定

八塩いこいの森に今春オープンする青少年交流施設の名称、使用料などを決めました。
名 称▽青少年交流施設「野鳥の家」
使用料▽会議や研修に使用する場合は

「若者定住促進条例」による貸付(支給)金の概要

項 目	貸付(支給)額及び貸付条件等	貸付(支給)対象者
1. 若者定住環境整備資金貸付	<ul style="list-style-type: none"> 貸付額100万円 貸付利率 3% 貸付期間 10年(ただし、2年間は据え置き) 	15歳以上35歳以下で町内に永住する意志のある若者(以下「若者」という)。公務員、在学者は除く
2. 若者物資購入資金貸付	<ul style="list-style-type: none"> 貸付額50~80万円 貸付利率 無利子 貸付期間 5年(ただし、1年間は据え置き) 	同上
3. 新婚旅行貸付	<ul style="list-style-type: none"> 貸付額30~50万円 貸付利率 無利子 貸付期間 5年(ただし、1年間は据え置き) 	申請者または申請者の配偶者となる人が「若者」の人。いずれも初婚であること。公務員、在学者は除く。
4. 就職祝い金支給	<ul style="list-style-type: none"> 支給額 3万円(ただし、Uターン者で配偶者のいる人は6万円) 	新卒者または転入者で町内または町内より通勤できる事業所に就職し、就職後6ヵ月を経過した「若者」。
5. 縁組世話人給報奨金支給	<ul style="list-style-type: none"> 支給額 5万円 	結婚相談、仲介など、事実上婚姻成立のため世話活動に携わった人



八塩いこいの森に建設中の「野鳥の家」

六百元、宴会などに使用する場合は二千五百円(いずれも研修ホール、休憩室一室当たりの使用料で、休憩室を半

分に区切って使用する場合は三百円または千二百円)

固定資産評価審査委員会委員に遠藤氏を再任

任期満了にともない、遠藤二三雄氏(宿・七四歳)を再任しました。

二年度一般会計に一億九千万円追加

平成二年度一般会計予算に一億九千七百四十八万六千円を追加、同予算の総額は三十五億九千四百四十一万五千円になりました。主な内訳は▽庁舎建設基金積立金二億円▽地域振興基金積立金三千二百二十七万円など。



高橋宏幸の世界

1

たかはしひろゆき さく・え

ちいさなたんぽぽさん

わたしの なまえは まさこです。
ことし 一ねんせい。

パパは かいしやに おつとめ、
ママは ようちえんの せんせい。
ママが かえるまで、わたしは、いつも

ひとりぼっちよ。

わたしの うちが まちの はずれにあつて、
まえは ひろい はらっぱ。

はるに なると たんぽぽが
いっぱい さいていた。

それで、たんぽぽひろぼと よんで、
あそびばに していたの。

あるひ、ブルドーザーが やってきて、

たんぽぽひろぼを めちゃくちゃに
ひっくり かえして しまった。

ちかくに おおきな マンションが
たったけど、こんどは なにが たつのかな。

ブルン ブルン ゴー ゴー ガー
ブルドーザーが まいにち まいにち

うるさかったわ。まるで たんぽぽを
たべる かいじゅう みたい。かわいそうに

たんぽぽは 一ぼんも なくなった。

なんにちか たったら、あの みどりの
たんぽぽひろぼは、はいいろの
コンクリートひろぼに かわっちゃった。

まわりは たかい かなあみの へい。
おともだちは だれも はいって こない。

あそびあいては いぬの トモだけ。

がらん とした コンクリートひろぼ—
さぼくって こんなの かしら。

あしもとを みたら、コンクリートと
ブロックいしの すきまから、ちいさな

たんぽぽが 一ぼん かわを だしている。
たんぽぽさんが いたので、ほっと

しちやった。

だけど、たんぽぽさんも ひとりぼっちで
かわいそう。それで、そばに チョークで

たんぽぽの おともだちを 一ぼん かわて
あげた。

「おともだちが 一ぼんだけじゃ さみしい
でしょ。もっと うんと かわて あげる。」
わたし、おおきい たんぽぽ、ちいさい

「トモだけじゃ つまんない。
だいすきな おにんぎょうの
イッコちゃんを よんで、
いっしょに あそびましょう。」
と、チョークで、じめんに
イッコちゃんの えを かわた。
すると ねえ



たんぽぽを、いっぱい、コンクリートに
かわた。

すると ねえ—
いつの まにか、わたしと

トモが、たんぽぽの たくさん
さいている ひろい はらっぱに
たっていた。

「あら、まえに あった

たんぽぽひろぼに そっくり。」
そう おもったわ。

「トモだけじゃ つまんない。
だいすきな おにんぎょうの

イッコちゃんを よんで、
いっしょに あそびましょう。」



と、チヨークで、じめんにはなを かいた。

すると、ねえ——
えに かいた イッコちゃんが
にっこり わらって、

「まあちゃん、あそびましょう。」

と、たちあがったの。トモが
うれしがって とびまわったわ。

「ええ、いいわ。いんこの ビータと
ビーコも よびましょうよ。」

わたし そらに なかよしの
ビータと ビーコの えを かいた。

えに かいた ビータと ビーコも、
ビビビビ ビー ビー

と、うれしそうに そらを とんだわ。

「もっと、おはなを さかせましょう。」
と、イッコちゃんが いうので、

ふたりで じめんにはなを かいた。

すると、えのはなが はっ はっ
と さいた。

「チューリップに、すみれに、ひなぎく、
カーネーション……」

わたしと イッコちゃんは、あか、
しろ、きいろ、ピンクと、いろいろな

はなを、たくさん、たくさん さかせた。
ひろい はらっぱが うつくしい

おはなばたけに なっちゃんた。
トモったら、はなの なかを

ころげまわって よろこぶのよ。
すると、あっち こっちから、

「まあちゃん あそばせてー。」
と、こどもの こえが きこえてきた。

「おや！」
と、おもって みると、おおぜいの

おともだちが、たくさんの はなから、
わあーっと とびだして きたの。

けんちゃんも まりちゃんも
いたわ。

みんなは、やきゆうを やったり、
なわとびを したり、おにごっこを

したり、いろんな ことを して
あそんだわ。

とつても たのしかった。

その とき……

サ—
かぜが ふいてきた。

「まあちゃん たすけてえ。」
びっくりして そらを見ると、

たんぼほの しろい わたげが そらに
いっぱい とんでいく。チューリップや
すみれの はなびらも とんでいく。

イッコちゃんも、ビータ ビーコも、
おともだちも、みんな たんぼほの
わたげに つかまって とんで
いっちゃんた。

ビッビー ビー ギーツ

と、いやな おと。
わん わん わん

と、トモの こえ。
きが ついたら、わたしの まえに

じどうしゃが 一だい とまって、うるさく
けいてきを ならしていた。

わたし、じどうしゃを ならんで やった。
だつて、せっかく かいた おはなばたけを

ふんずけて いるんですもの。
でも、ここは ちゅうしゃじょう

だつたのね。

「たんぼほさん だいじょうぶ？」
わたし、たんぼほさんの そばへ いった。

たんぼほさんが、じつと わたしを
みあげている。

「がっかり しないでね。」
と、いつている みたい。

がっかりなんか するものですか。
そうよ。わたしは、チヨーク 一ぼんで、

おはなばたけを つくったんですからね。
でも こんな ところじゃ

たんぼほさんが かわいそう。
もっと ひろい ところへ

つれて行って あげたいなあ。
そしたら、まえのような

たんぼほひろばが
できるんじゃないかしら。

町のわだい TOPICS

本荘追分歌い竹美さん全県 「これからがますます楽しみ」 浅野梅若名人賞も受賞

第九回全県少年少女民謡大会（三月十日、秋田市文化会館）で、東由利中の柿崎竹美さんが最優秀賞に選ばれました。同大会は第十回県民謡王座決定戦の合間に開かれ、全県から小・中学生二十一人と幼児三人が出場、柿崎さんは「本荘追分」を堂々と歌い上げ、みごと全県一に輝いたものです。

竹美さんは町民謡同好会の一員。大会を見守った遠藤真吉同会長は「昨年の本荘追分全国大会では予選落ちしたが、その時に比べ声質がとても良く、度胸もついてきたようだ。これからますます楽しみ」と話しています。

受賞式で竹美さんは、最優秀賞のトロフィーにも増して価値が高いと言われる「浅野梅若名人賞」も受賞、梅若さんの力強い励ましの言葉に「賞に負けないよう、これからも頑張ります」と意欲を見せ、応えていました。



最優秀賞、浅野梅若名人賞などのトロフィーと賞状を手に柿崎竹美さん（中央）ご両親と

大琴小学校で 10歳祝い、2分の1成人式 二層の成長を誓い合う

大琴小学校で三月十四日、二十歳の半分、満十歳を迎えたことをひとつの区切りに、互



いの成長を認め喜び合おうという「二分の1成人式」が行われました。このユニークな成人式は、家庭や学校、地域の人々に対し感謝の心を持ち、自らが主体的、意欲的に豊かな心で生きていくことを誓い合う機会にしてほしいと、鈴木

憲一校長のアイデアで実現した初の試みです。この日「成人」を迎えたのは同校の四年生二十六人で、上級生、下級生の拍手で体育館に迎え入れられ、一人ずつ壇上に上がり鈴木校長から「二分の1成人証書」と記念品の贈呈を受けました（写真）。児童会代表の祝辞のあと、「新成人」を代表し大庭大介くんが「これから本当の成人になるまでの十年間には、いろんなことがありそうです。一人ひとりが目標を持ち頑張っていきたいと思っています」と元気に誓いの言葉を述べました。鈴木校長は「この行事を大琴小の目玉として定着させていきたい」と話しています。

町スポーツ栄誉賞に12人、4団体 安倍、鈴木(敬)くん、鈴木(江)さんは 東北総体でも活躍

平成二年度町スポーツ栄誉賞授与式が三月六日町有隣館で行われ、郡大会以上の大会で活躍した十二人と四団体に賞状やメダルが贈られました。

このうち、県大会で優勝(第一位)したのは、全国少年少女リレー競技県予選大会で小野智樹くん、高校総体走り幅飛びで安倍正くん、県民体育大会漕艇競技及び高校新人漕艇競技会で鈴木敬三くん、高校総体卓球で鈴木江利子さんの三人で、安倍くんと鈴木(敬)くん、鈴木(江)さんは東北総合体育大会にも出場し、上位入賞を果たしています。

受賞者・団体は次の通りです(敬称略)。

- 〔個人の部〕▽小野智樹(高瀬小6)▽大庭明子(大琴小5)▽大庭志穂子(同6)▽高橋恵(同)▽大庭優子(東中1)▽遠藤智里(同3)▽大庭朋和(同2)▽安倍正(本荘高3)▽鈴木敬三(由利工2)▽小松美香(本荘高下郷1)▽遠藤淳子(同)▽鈴木江利子(由利高2)
- 〔団体の部〕▽大琴小A(卓球)▽東中(リレー)▽同(バスケット)▽東由利A(ゲートボール)

参加者に好評のゲートボール教室



好評です。ゲートボール教室 ビデオ使い実践・技術指導 要請あればいつでも指導員派遣

今年二月から健康増進センターで開かれている「ゲートボール教室」が参加者に好評です。

三月二十四日に開かれた教室には三十五人が参加し、町ゲートボール協会(石綿民喜会長)所属の公認審判員の指導を、熱心に受けました。

この日は、コートでの実技とルール指導のほか、ビデオを使った実践・技術指導も行われ、参加者はゲートボールの「わざ」の広さに、改めて認識を深くしていました。

同協会では、今後も定期的に教室を開き、ゲートボールの普及と技術の向上に努めていきたいとしているほか、要請があればいつでも、どこにでも指導員を派遣することにしており、今後ゲートボールの愛好者はますます増えそうです。

日赤県支部の百周年記念事業で 本町にも災害救援車届く 拡声器や照明備えた「博愛号」

日本赤十字社秋田県支部(佐々木喜久治支部長)から町に、このほど災害救援車が贈られました。

同支部が百周年記念事業として、昭和六十二年から順次県内各市町村に寄贈してきたもので、今回寄贈を受けたのは本町のほか比内町、峰浜村、八郎潟町など十町村です。

この災害救援車は「博愛号」と名付けられたライトバンで、白い車体のボンネットとドアに赤十字のマークが記されています。また、災害時の救護員、救護資材の輸送や献血推進などに利用できるよう、拡声器や照明を備えています。

日本赤十字社秋田県支部から町に贈られた災害救援車「博愛号」



かがみ

阿部 鈴子さん(20歳)
宇戸坂・小松歯科医院勤務



やっと社会人になれた……という感じで、ちよっぴりうれしいですが、でも不安でいっぱいです。三月に秋田市内の専門学校を卒業し、現在、小松歯科医院にお世話になっていきます。毎日訪れる大勢の患者さんを前に、まだ右往左往で、小松先生をはじめ、先輩の皆さんには大変ご

迷惑をおかけしています。一日も早く仕事に慣れるよう、がんばりたいです。

休日は、免許はあるものの「ヘーバードライバー」だったので、いまのところ車を運転できるように練習をしています。これからは、ゴルフをやってみたいし、冬はスキーも始めたいと思っています。理想の男性像は、自分が安心してついていける責任感のある人……です。

四月二日は私の二十一歳の誕生日です。友だちの皆さん、プレゼントお待ちしております。今回は大日向良幸さん(宮の前、20歳)にリレーします。

そして今は、受験を約三ヵ月後にひかえた受験生です。

この三年間で、何が一番楽しかっただろう」と考えてみると、一つには決められないほど、私にとって中学校生活は想い出深かったと思います。しかし、必ずしも楽しいことばかり

度ではありませんでした。しかし、それに耐えて部活動が続けたことは、精神的にも自分自身のプラスになったと、今は続けて良かったと思うことができます。そして、三年間の中の一大イベント



東由利中「卒業文集」から

おもいで

3年A組・工藤 福子



かりだったかという、そうでもありません。特に、部活動では剣道部員としてがんばってきましたが、他の部に比べて、増しては夏は暑いし、冬は寒いので、練習に行くのが嫌だったことが一度や二

度ではありませんでした。しかし、それには耐えて部活動が続けたことは、精神的にも自分自身のプラスになったと、今は続けて良かったと思うことができます。そして、三年間の中の一大イベント

私には、自分の中につめきらないほど、楽しみ・学び・時には頭を悩ませたりしながら友だちと過ごした思い出があります。今、間近に別れがきつつあるとしても、また会う機会があるでしょう。だから、まず志望合格を実現させ、笑顔で会える日が早くくればいいと思っています。最後に、いろいろお手数をおかけした先生方、どうもありがとうございました。工藤福子さんは本荘高校に進学が決まり、四月からは高校生として「がんばり」が期待されます。

データによる日本人の暮らし

女子大生は100万人

—急増する女子進学者—

四月は進学・入学・就職などの季節ですが、昨年、大学・短大に進学した学生は、七十二万人余りに上っています。最近では女子の進学率が急増して、平成元年に三六・八と男子二二・五(八)を上回り、平成二年には入学者でも男子を抜いて三十六万六千人に達しました。

一方、大学・短大への門戸はさらに狭くなり、不適合者数も十年前に比べ二十万人も多い四十四万人に上っています。これは、高学歴志向を反映した入学志願者数の増加や、第二次ベビーブーム世代が受験期にさしかかっていることなどによるもので、この傾向はしばらく続くものとみられます。なお、高校進学率は昭和四十四年から女子が上回っており、平成二年も女子九六・二と、男子九四・九となっています。

東由利の文芸

ゆりかご句会 (三月会)

- ◆ 囀りのひとときわ高き宮の森
- ◆ 囀りや袖は神話をよく信ず
- ◆ 囀りや野仏頭巾新しく
- ◆ 梅が香や娶りの家の人出入り
- ◆ 梅ひらく喪の家しきたり多きかな
- ◆ 退院に梅鉢先に送りけり
- ◆ 一人居の部屋を温めて梅咲かず
- ◆ 梅が香に霞む天神奥深し
- ◆ そこだけの土に四、五羽が囀りぬ
- ◆ 囀りに混じる寛や厨窓
- ◆ 嫁姑着丈が揃う梅の庭
- ◆ 囀りやむつきかえたる嬰の欠伸
- ◆ 囀りに仏と共に朝餉かな
- ◆ 小笠原亮子 (蔵新田)
- ◆ 小野 貞子 (同)
- ◆ 遠藤トミ子 (小倉)
- ◆ 鈴木 徳蔵 (舟木)
- ◆ 小松 メサ (下小路)
- ◆ 小松慶次郎 (高戸屋)
- ◆ 阿部 澄子 (蔵)
- ◆ 菊地 常作 (湯出野)
- ◆ 小笠原トミ (蔵新田)
- ◆ 鈴木 要 (沼)
- ◆ 佐藤 正義 (湯出野)
- ◆ 高橋ヒデ子 (横 渡)
- ◆ 小松 徳蔵 (湯出野)

せんせい登場



2年生のソフトボール部員へ

東由利中学校・小嶋 裕先生

(小嶋先生は、このたびの異動で西目中へ転任されました)

シーズン・オフになってから、ずっとキャプテンはじめ六人の二年生に練習をまかせっきりでいることを、心から申し分けなく思っています。三年生の進路が第一とは言え、最後のシーズンを迎えようとしている君たちに、特別な指導をすることができないのが残念でなりません。

二年近く前に入部してきた六人の新入生たち。女子のほとんどが剣道部へ、バレー部へと流れる中、あえてソフトボールという男じみた、ドロ臭い危険なスポーツを選んだ君たち。たった六人というこ

とで、入部してから一年間、グラウンドではほとんど玉拾いばかりでした。少人数で、しかも、十分な基礎・基本を身につけることも出来ないままに、三年生からソフト部を引き継いだ君たちに、お世辞にも新人戦でまともな試合ができるなんて期待は持てませんでした。しかしながら、君たちの夏の汗と土にまみれた努力は、予想をはるかに上回る、気迫に満ちあふれ、それまでのハンデいをすべて克服する程のすばらしいものでした。一年生をひっぱり、一丸となって夜遅くまでの練習をくり

返し、数多くの練習試合をこなしながら、新人戦では強敵西目中の前に惨敗した。しかしこれは、君たちのプレーヤーとしての最初の試練にすぎない。三年間の部活動の総決算である都市総体で、ソフトボールを続けて来て良かったと言える試合が出来るように、この雪の季節に地力をつけ、技を磨き、シーズンに備えてほしい。今は実感がわかないかも知れない。しかし、無駄に過ごす大切な時は知らぬ間に過ぎ去ってしまう。今までの努力と熱意を裏切ることのないよう、練習に取り組んでほしい。

保健婦の

快適タイム

味覚は心のバロメーター

人間の舌は、甘味、塩味、酸味、苦味の四種類の味を感じ分けます。味への知覚度は舌の部位によって異なります。

甘味、塩味は血糖、塩分として血液中に含まれ、体液の濃度を一定に保つ働きをします。疲労がたまる甘いものが食べたくなったり、ひどく汗をかいたあとに塩辛いものを欲したりというのは、日ごろしばしば体験することです。

もっとも、そうした日常的な味覚の変化とは別に、味を感じ分ける能力自体が、年齢とともに変化します。味覚の実験報告によると、変化の起き始める年齢は四十五歳前後で、これ以降味覚は鈍化し、舌はより濃い味を求める傾向がでてきます。成人病に要注意の年齢にさしかかることも重ねて考えると、若いときから薄味に慣れておくことが大切といえるでしょう。

さて残りの二つの味覚のうち酸味は、舌の側面が敏感に感じとり、苦味は舌のつけ根に近い部位が鋭敏です。

酸味は精神的なストレスを緩和し、苦味は嫌なことがあったときに強く感じるといわれます。味覚は肉体と同時に心のバロメーターでもあるのです。

(保健婦・伊東志津子)

おやこきつね つくし森の母子狐

語り・遠藤聚一さん(宿)
文と絵・石渡力造



むかしむかし「宿むら」の「つくし森」に母子の狐がすんでおった。

春になって、穴の中から出てきた子狐は、「むらの七平はたご屋(旅館)の男の子と遊びたいなあ。一度でいいから女の子に化けさせてよう」と、毎日のように母親に駄々をこねるけど。根気負けた母親狐は、畑の立石山の神様に相談に行った。山の神様は「人間に化けさせても良いが、そのかわり母親狐の命がなくなるぞ」と言われた。

それでも、かわいい子狐の夢をかなえさせてやろうと、人間そっくりの女の子に化けさせて、かんざしがわりに山桜の花をチョンとさしてくれだ。とつてもめんこい娘こになったけど。七平はた

ご屋の男の子は、同じ年ごろの娘こなので、すぐ仲よしになって遊んだだけよ。

ある日の夕方、「ポォー、ポォー」とホラ貝を吹き鳴らしながら、「七平はたご屋」に一人の行者さんが泊まったでおの。行者さんは



主人の七平さんに「さっきの娘こは、ここの娘こかの。どうも四つ足の匂いがするんじやが、何か起こらなければいいが」と頭をかきしげるけど。障子のかげでじっと聞いていた娘こは、どうしたこと

かブルブルふるえているけどよ。それから何日かたつて、むらの鉄砲撃ちが裏山で獲物をしとめた。七平はたご屋の前で得意になって見せびらかしておった。子狐の娘こは、人垣の間から何だろうとのぞいて見るなり「ウウー」を気を失ってしまった。

人間の子に一度でいいから化けさせてとせがみ、その夢をかなえさせてくれた母親狐だったでおの。子狐の娘こは、わがままな自分のことのために命までかえてくれた母親のことを思うと、涙がいっぱいになり、気がくるったように「つくし森」に向かって走って行った。その晩は、おぼろ月夜の「つくし森」から子狐の悲しい泣き声が一晩中するけどお。

とつぴんからりん山しよの実

ねんきん通信

20歳になったら国民年金

学生も全員加入します

国民年金には、二十歳以上六十歳までのすべての人が加入しますが、大学生や専門学校などの学生はこれまで任意でした。このため



●免除される一例
(サラリーマン4人世帯で学生1人の場合)

	国公立	私立
親と同居	年収約600万円以下	年収約680万円以下
親と別居	年収約660万円以下	年収約740万円以下

た場合でも満額の老齢基礎年金を受けられることが出来ません。このようなことから、国民年金法が改正され、今月から学生の皆さんも全員加入しなければならぬこととされました。加入後の保険料については、学生という立場上、新しく保険料免除基準が定められました。

保険料が九千円に 変わりました

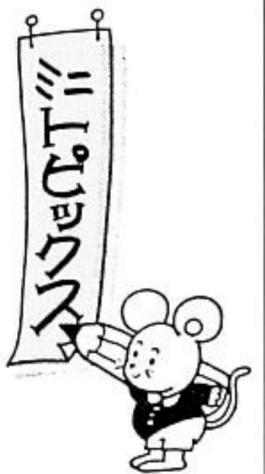
国民年金の保険料が、四月から一カ月九千円に変わりました。付加保険料はこれまで通り一カ月四百円です。なお、保険料は一年分を前納することが出来ます。この場合、二千六百十円が割り引きされ、納入額は十万五千三百九十円となります。また、付加保険料の場合には二千七百三十円の割り引きで、納入額は十一万七千円となります。ぜひご利用ください。



小松副団長が日本消防協会 会長表彰を受賞

町消防団副団長の小松正幸さん(写真・高戸屋)が、日本消防協会会長表彰を受賞し、平成二年度消

防功労者表彰式(三月十三日・県正庁)の席上、佐々木県知事から伝達を受けました。小松さんは昭和五十九年副団長に就任、以来本町消防活動のリーダーとして手腕を発揮しており、現在も団員に大きな信頼を受けながら活躍中です。



洋介くん雪の会にて表彰

大琴小五年の大庭洋介くん(写真)が、冬休み中に自由課題として調べた「雪と人々の生活」という研究文が、このほど「秋田雪の会」が開いた第8回児童生徒の雪に関する研究発表大会で優秀賞を受賞しました。

この研究文は二百字詰原稿用紙十五枚の大作で、家族の話しを中心に利雪・克雪について自分の考えをまとめています。洋介くんの努力、家族の協力がひしひしと伝わってくる大研究です。



学校にステンレス製 ちり取りプレゼント

板金業の工藤保春さん(蔵新田)からステンレスで作った「ちり取り」合わせて二十八個が、このほど町内四小・中学校に届けられました。このちり取りは、工藤さんが仕事に使う材料の一部を使い、丹精込め作り上げたもので、「子供三人が世話になったお礼に」と、

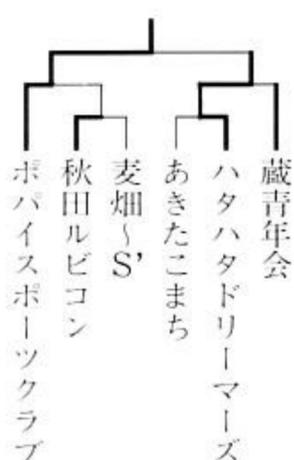
末の子の中学卒業を機に寄贈したものです。各学校では「清掃に取り組み子供たちの心が一層磨かれるよう、プレゼントを生かしていきたい」と善意に感謝しています。

新町自治会が二年連続で 納期内完納を達成

八十世帯の大所帯を抱える新町自治会(佐藤昭一会長)が、昨年に続き町税の納期内完納を達成しました。これにより同自治会には「二月完納報奨金」と「納期内完納報奨金」あわせて、十六万円の報奨金が役場から贈られます。

ポバيسポーツクラブが初優勝

「91バレーボールクラブリーグ」の、決勝トーナメントが三月十七日健康増進センターで行われ、熱戦の結果ポバيسポーツクラブが初優勝しました。



老方プリンスが初優勝

室内ゲートボール大会が三月三日健康増進センターで、九チームが出場して開かれ、決勝戦で前年優勝チームの「養田クラブ」を十三対十一の小差で破り「老方プリンス」が初優勝を飾りました。

●採血基準の改正

体重別の血漿採血基準を導入

血液の比重と血圧の基準を見直し

諸外国と比べて、日本の献血率は高いのが実情です。

平成元年は、延べ約八百七十万人の方が献血をされました。しかし、その一割に当たる約八十二万人の方が、血圧が低い、血液の比重が不足しているなどの理由で献血に不適格とされ、その善意を生かすことができませんでした。そこで、採血基準を四月一日から改正し、いままで不適格とされ採血できなかった人たちにも、献血に参加できる道が開かれることになりました。

現在、国内で行われている献血方法は、大きく分けて二通りあります。一つは、血液をそのまま献血していただく「全血献血」もう一つは、血液の構成成分である血小板や血漿だけをいただき、残りを体内へ返す「成分献血」です。全血献血には、二百ccと四百ccの二種類があるため、成分献血と合わせると全部で三種類—このなかからいずれかの方法を自由に選んで、献血できるようになっていきます。

しかし、現在の採血基準は昭和六十一年四月から実施されたもので、すでに五年が経過しています。この間に、蓄積された医学的安全性や諸外国の例が検討され、採血基準を改正し、平成三年四月一日から実施することになりました。



改正された 四つのポイント

それでは、従来の採血基準とどのような点が違うのでしょうか。大きく改正された四つのポイントをみてみましょう。

①血液の比重が採血基準に達しない女性の方も、献血できるようになりました

女性の低比重は、必ずしも女性の不健康を示すものではありません。これは、血液中の赤血球の数の違い（女性は男性に比べて、約一割少ない）による、生理的なものが多いといわれているからです。こうした方は、これまで献血できませんでしたが、今回の改正で献血方法によっては、善意が生かされるようになりました。この献血の方法は血漿成分献血といわれるもので、血液中の血漿だけを採血し、回復が遅く、女性には男性より少ない赤血球などの成分を体内に返すものです。事前に赤血球指数の検査を行い、標準域であれば血漿成分献血ができるようになります。

時間がかかりますが、設備の整った最寄りの献血センターか献血ルームでは、ゆっくり献血することが出来ます。献血したくても献血場所が分からないときは、最寄りの日本赤十字社や血液センター、または都道府県や市区町村の献血の窓口へ、気軽にお尋ねください。

②血圧が低い（低血圧）人も、献血ができるようになりました

これまでは、最高血圧が100mmHgを超えていないと、献血できませんでしたが、改正後はすべての献血方式について、最高血圧の下限が90mmHgとなりました。

③体重の軽い人も、成分献血ができるようになりました

従来の採血基準では、体重五十kg未満の人は、二百ml献血しかできませんでしたが、しかし今回の改正で、男性四十五kg以上、女性四十kg以上の方も、成分献血ができるようになりました。

④血漿成分採血は、体重を目安に採血量を選択できるようになりました

血漿成分献血は、献血する人の体重を目安に、本人の希望により三百〜六百mlまで献血できます。

どんなに時代が進んでも、献血は人間にしかできない最も尊い行為です。安全で安心な輸血をするために、皆さんのご協力をお願いします。

教職員異動

（八塩小）（敬称略）

【転出】▽教頭・堀鐵三郎（下川大内小）▽佐藤テイ子（北内越小）▽三保忠（仁賀保中）

【転入】▽教頭・伊藤孝志（県教委）▽岡部和則（鶴舞小）▽伊東綾子（下川大内小）▽後藤千佳子（新採用）

（高瀬小）

【転出】▽高橋百合子（西目小）

▽尾留川昭（矢島中）

【転入】▽石川道（新山小）▽菅原あゆ美（新採用）

（大琴小）

【転出】▽教頭・安保誠（笹子小・校長）▽斎藤暁（小出小）

【転入】▽教頭・阿部文夫（平沢小）▽三浦春道（新採用）

（東由利中）

【転出】▽校長・河本正徳（西目中）▽小嶋裕（西目中）▽養教・伊藤真弓（北内越小）

【転入】▽校長・野田口卓（矢島中）▽芦沢恒人（新採用）▽養教・伊藤伊智子（下川大内小）

駐在所異動

（老方駐在所）（敬称略）

【転出】▽石川邦夫（本荘署交通課）▽伊藤主税（羽後派出所）

【転入】▽佐藤吉照（交通機動隊）

▽佐藤広喜（秋田署）

（宿駐在所）

【転出】▽小笠原清剛（高速道路交通警察隊）

【転入】▽長沢英紀（大曲署）

74

オオイタドリ (タデ科)

文・写真 小松忠正



食通が雪解けを待ちかね採集にいくのがこの草で、私達は「サシ」といって賞味します。イタドリは「タゲチカ」といって食べません。芽が出て間もないサシは酒粕でもしたり、でんがくが最高です。茎は三日月近くになり、葉は広卵

形で互生し、七月ごろ枝先の花穂に白色の小花を多数つけます。雌雄異株で葉草です。この名も痛取からきたものといひ生葉の汁をすり傷につけると血が止まり痛みもなくなるといひます。また便秘にはこの草の根を用います。

4月 (2/1~2/28)

町の三二統計

- 人口 () は前月比
 - ・男 2,835人 (2)
 - ・女 2,962人 (△2)
 - ・計 5,797人 (-)
- 世帯数 1,423戸 (1)

() は1月からの累計

- 出生1人(2) ●死亡2人(10)
- 転入6人(9) ●転出6人(13)

- 火災出動……0件 (1)
- 救急出動……12件 (22)
- 交通事故……0件 (2)
 - ・死者……0人 (0)
 - ・傷者……0人 (3)
- 飲酒運転……0人 (0)
- 酒気帯び……0人 (0)

4町民カレンダー

4月7日は県知事、県議会議員の選挙投票日

- 4・小学校入学式
- 5・中学校入学式
- 6・保育園入園式
- 12・三混予防接種(14時~有鄰館)
- 20・町長面会日

春の火災予防運動

4月14日~4月20日

- 22・大火防止訓練 (大琴地区)
- 24・愛育会総会 (13時~有鄰館)
- 26・自治会長会議 (予定)

13日と27日の土曜日は役場が休みです。



町社会福祉協議会に小松恵治さん(黒沢)と、蔵自治会から金一封のご芳志がありました。ありがとうございます。皆様からお寄せいただいたご芳志は、すべて町内の恵まれない方たちのために役立てていきます。平成二年度でこれまでにお寄せいただいたご芳志の総額は484,482円です。

●ごめい福をお祈りいたします

小松 寅藏さん(88欣一父)湯出野
 小松善次郎さん(70タマヨ夫)黒沢
 小笠原五郎さん(74敏昭義父)大琴
 小松三治郎さん(86カツエ夫)下小路

お誕生おめでとう

遠藤 壮登ちゃん(基長男)小倉
 佐藤 和希ちゃん(秀人二男)時雨山
 小松 良根ちゃん(幸子二男)高戸屋

(21~30届出)

戸籍だより

広報カラー スナップ

卒業

写真・八塩小学校卒業式にて



初めてのセーラー服姿にちょっぴりはじらいながら、在校生に見送られ学舎を巣立つ、めぐみさん(右)と真由子さん(左)。胸には6年間の思い出がぎっしり……。

▼新年度がスタートし、町では予算・事業・人事などが新しくなり「心機一転」といったところですが「部分修正」ととどまらせていただきました▼表紙は引き続きカラーにしました。町写真サークルの皆さんの協力を得ながら写真を掲載していきたいと思ひます▼読者のご要望により

編集室から

「高橋宏幸の世界」第二弾として高橋先生の童話をシリーズで紹介させていただきます。高橋先生には引き続きお世話になります▼「ふるさとを想う」欄は寄稿あり次第掲載させていただきます。また「ふるさとへの連絡箱」欄を設けたいと思ひますのでご利用ください▼NHKふるさとネットワークに四月四日に出演予定です。ご覧を。